

平成19年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	19-3	岩手県
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名) 漁業用作業保管施設
事業実施主体	越喜来漁業協同組合	
評価期間	平成20年度～22年度	
事業費	32,450 千円	
交付金額	16,225 千円	
成果目標	3年間の総便益	6,209 千円
実績値	3年間の総便益	0 千円
成果目標の達成率	0.00 %	
事業の目的	<p>養殖ホタテガイ等の集出荷作業は、屋外で行われているため、当該施設を整備することにより、労働環境の改善、作業効率、衛生管理体制の向上を図る。</p>	
事業の成果	-	
その他特筆すべき事項	<p>農林水産業共同利用施設災害復旧事業により修繕している。</p>	
成果目標が未達成の場合はその理由及び改善方策	<p>東日本大震災に伴う津波により、施設と管理者である漁協の事務所が被災し、評価に必要な利用記録等が流失したため、効果算定が不能となっている。</p>	
備考	<p>施設の主要取扱い生産物であるホタテガイの養殖施設も流失したが、平成23年度以降養殖を再開している。 ホタテガイは、出荷まで2～3年の期間を要するため、平成26年から事業計画に沿った施設の運用がなされる見込みである。</p>	

平成19年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	19-4	岩手県
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名) 海水殺菌装置
事業実施主体	船越湾漁業協同組合	
評価期間	平成20年度～22年度	
事業費	34,900 千円	
交付金額	17,450 千円	
成果目標	3年間の総便益	33,853 千円
実績値	3年間の総便益	0 千円
成果目標の達成率	0.00 %	
事業の目的	消費者へ安全・安心な生産物を供給するため、魚市場用水を紫外線殺菌し、衛生管理の向上を図る。	
事業の成果	-	
その他特筆すべき事項	施設が津波により大破したため、水産業共同利用施設復旧整備事業により、代替施設を整備している。	
成果目標が未達成の場合はその理由及び改善方策	東日本大震災に伴う津波により、施設と管理者である漁協の事務所が被災し、評価に必要な利用記録等が流失したため、効果算定が不能となっている。	
備考	当事業で整備した施設が全壊しており、災害報告により補助関係が終了している。	

平成19年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	19-5	岩手県
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名) 漁業用作業保管施
事業実施主体	玉川浜漁業協同組合	
評価期間	平成20年度～22年度	
事業費	33,934 千円	
交付金額	16,966 千円	
成果目標	3年間の総便益	11,833 千円
実績値	3年間の総便益	▲ 204 千円
成果目標の達成率	▲ 1.73 %	
事業の目的	ウニのむき身作業は、仮設テントや漁船格納庫等を利用していることから、当該施設整備により、作業効率や衛生管理の向上を図る。	
事業の成果	<p>施設整備により、衛生管理の向上は図られたが、施設整備前と比較して単価は向上しなかった。要因としては、当漁協が所在する洋野町の他の漁協は、従前より衛生管理を徹底しているため、他漁協との差別化が難しかったこと、単価は需給バランスや1回あたりの漁獲量、品質(身の色)など衛生管理以外の要因にも左右されるためと考えられる。</p> <p>一方で、ウニ漁は40回開口されているが、むき身作業時間は、所期の計画どおり施設整備前よりも概ね1時間半から2時間短縮された。</p>	
その他特筆すべき事項	<p>東日本大震災に伴う津波により、当該施設が被災し、利用日誌が流失したため、作業時間短縮による効果については、評価値の算定が不能となっている。</p> <p>施設が津波により全壊したため、水産業共同利用施設復旧整備事業により、代替施設を整備している。</p>	
成果目標が未達成の場合はその理由及び改善方策	東日本大震災に伴う津波により、施設が被災し、評価に必要な利用記録等が流失したため、効果算定が不能となっている。	
備考	当事業で整備した施設が全壊しており、災害報告により補助関係が終了している。	